

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 4 年 9 月 2 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	東洋建設株式会社
所 在 地	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 武澤恭司
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-6361-5462
	メール：saito-tadasuke@toyo-const.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.toyo-const.co.jp/csr

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和 4 年に創業した総合建設業者であり、港湾工事、浚渫・埋立工事等の請負事業を営んでいる。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用や作業船の使用 燃料転換、油圧駆動の部分電動化等により、 完成工事高 1 億円当たりの CO2 排出量を削減 する。	【目標】2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-CO2/億円以下 海上土木 47.5t-CO2/億円以下 建築 10.7t-CO2/億円以下
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、 生産性向上施策の実施により、時間外労働時 間を短縮する。	時間外労働時間 【現状】平均 48.5 時間/月、582 時間/年 【目標】上限 45.0 時間/月、360 時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の実施件数 【目標】10 件以上

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる			3					8									
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	毎年30現場の使用船舶・重機等の燃料使用量を集計し、完工高1億円当たりのCO2排出量を算出している。排出量削減に向け、ハイブリッド型重機の導入や作業船燃料をA重油から軽油への転換、油圧駆動部の部分電動化を進めている。							7.2 7.3						12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ 作業船からの油流出事故を防止するため、港湾・河川・湖沼工事や水域近接の建築工事において、事故防止を目的とした教育を実施。 ・ 藻場の造成、魚礁等の設置、水鳥の飛来地造成等の提案、研究、施工を実施している。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・ 毎年のCorporate Reportにて取り組みを開示している。												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・ 現場仮設事務所への太陽光パネルや風車の設置等により、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ ISO9001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 藻場の造成、魚礁等の設置、水鳥の飛来地造成等の提案、研究、施工を実施している。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 社会インフラの整備に貢献している。 ・ 洋上風力発電施設の建設コスト低減のため、着床式・浮体式双方の基礎工法の開発に取り組んでいる。また、海底ケーブルの敷設に必要なケーブル敷設船建造に向け、設計に着手している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・ フェイスシールド着用が義務化されたフィリピンで近隣住民にフェイスシールドを提供。				4					9		11	12		14	15		17

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
名称：	東洋建設株式会社
代表者：	代表取締役社長 大林東壽
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用や作業船の使用燃料転換、油圧駆動の部分電動化等により、完成工事高 1 億円当たりの CO2 排出量を削減する。	【目標】 2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-CO2/億円以下 海上土木 47.5t-CO2/億円以下 建築 10.7t-CO2/億円以下	【実績】 陸上：47.6t-CO2 (▲45.7%) 海上：60.3t-CO2 (▲30.2%) 建築：11.4t-CO2 (▲41.5%)
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、生産性向上施策の実施により、時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 【目標】 上限 45.0 時間/月 上限 360 時間/年	【実績】 平均 34 時間/月 平均 410 時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の実施件数 【目標】10 件以上	【実績】6 件

令和 6 年 9 月 2 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
名称：	東洋建設株式会社
代表者：	代表取締役 中村龍由
登録年月日：	令和 4 年 9 月 2 1 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な 取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用 や作業船の使用燃料転換、油 圧駆動の部分電動化等によ り、完成工事高 1 億円当たり の CO2 排出量を削減する。	【目標】 2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-CO2／億円以下 海上土木 47.5t-CO2／億円以下 建築 10.7t-CO2／億円以下	【実績】 陸上：47.6t-CO2（▲45.7%） 海上：60.3t-CO2（▲30.2%） 建築：11.4t-CO2（▲41.5%）
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時 間管理制度導入、生産性向上 施策の実施により、時間外労 働時間を短縮する。	時間外労働時間 【目標】 上限 45.0 時間／月 上限 360 時間／年	【実績】 平均 30.3 時間／月 平均 364 時間／年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工 に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の 実施件数 【目標】10 件以上	【実績】10 件

令和 7 年 9 月 29 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
名称：	東洋建設株式会社
代表者：	中村 龍由
登録年月日：	令和 4 年 9 月 21 日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	作業船及び建設重機の省エネ化や燃料転換の推進、ZEB/ZEH の展開を推進し、温室効果ガス排出量を削減する。	① Scope 1, 2 排出量を 2023 年度比 42%削減 ② Scope 3 (カテゴリ 1 及び 11) 排出量を 2023 年度比 25%削減	【2024 年度実績】 ・ Scope1 排出量：28.1%減 ・ Scope2 排出量：15.3%減 ・ Scope3 排出量：30.0%減
□環境 ✓社会 ✓経済	多様な人財が価値観を共有し、協力してお互いを高めあう職場の実現に取り組む。	女性管理職数 35 名以上	7 名 (2024 年度末時点)
✓環境 ✓社会 □経済	ブルーカーボン生態系の造成・再生に取り組む。	アマモ場造成面積 3,000 m ² (2030 年度までの累計面積)	【2024 年度造成面積】 11 m ² (累計面積：11 m ²)